

みんなで楽しむ八郎潟再生！

# 八郎潟モグリウム プロジェクト

事業紹介パンフレット



「八郎潟モグリウム」とは・・・

八郎潟干拓前の地層から掘り出してきたモグ（水草）の種（埋土種子）を復活させ、育てている水槽です。モグが創り出す豊かな環境を観察して楽しみつつ、将来的にはこのモグを八郎湖に故郷帰りさせて環境再生につなげよう、と考えています。

特定非営利活動法人  
**はちろうプロジェクト**  
HACHIRO PROJECT

本資料は、  
三井物産環境基金の助成を  
受けて制作しました。

## 「八郎潟モグリウムプロジェクト」 ご協力をお願い

### ①モグリウムを設置してみませんか？

当法人では、今後も八郎潟周辺各地域にモグリウムを設置し、そこに水草と生きものと人のネットワークを広げていきたいと考えています。モグリウムに関心がある・設置検討してみたいという、地域・学校・団体・個人の方がいらっしゃれば、ぜひはちろうプロジェクトにお問い合わせ下さい。



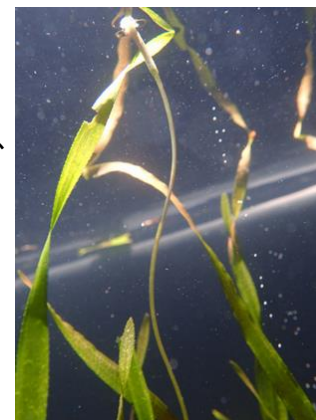
### ②一緒にモグリウムを広げる仲間になって下さい

私たちははちろうプロジェクトの会員（年会費2千円～）となって、一緒にモグリウムの活動に取り組んでみませんか？会員となっていた方には、モグリウムの設置活動、水草の生育や生きものの調査・研究などの最新情報をお届けします。



### ③協力してくれそうな人・団体を紹介して下さい

モグリウムとそのネットワークを広げるため、協力してくれるかもしれないという人・団体の情報も大歓迎です。地域の水生昆虫博士、プランクトンの先生、水草好き、はたまた八郎潟を何とかしたいという想いのある方などなど、ぜひご紹介下さい。



## 【本プロジェクトに関するお問合せ先】

特定非営利活動法人はちろうプロジェクト

〒018-1618

秋田県南秋田郡八郎潟町字川口531-1

（旧八郎潟展示館うたせ館）

TEL/FAX：018-874-8686

E-Mail：info@hachiro865.net

HP：https://hachiro865.net/



YouTube ページあります！



【事業概要：私たちの目指すもの】

### 〔八郎潟の豊かな生態系を作る水草〕

かつて、干拓前の八郎潟には「モグ」と呼ばれる水草（沈水植物）が繁茂し、人びとの生活に利用されていました。そこに棲むミジンコなどの動物プランクトンがアオコなどの植物プランクトンを食べて育ち、たくさんの魚や昆虫を育てていました。その豊かな生態系の中で、八郎潟の水はきれいに澄んでいました。

### 〔水草再生に向けた協働の取組み〕

秋田県立大学と千葉県立中央博物館は共同研究を通じ、八郎潟土着の水草（モグ）復活に成功しています。はちろうプロジェクトは、八郎湖の水環境改善のためには、豊かな生態系の復元が不可欠と考え、このモグを活かし八郎湖に再生させる取組みを始めました。千葉県立中央博物館 林紀男氏の研究成果※を適用して八郎湖流域各地にモグリウム（大型水槽）を設置し、そこで土着水草を栽培することでミジンコやトンボなどの豊かな生態系を復元し、回廊効果で広域に水生生物の「にぎわい」を生む効果を目指しています。八郎潟再生の足掛かりとなる夢の広がる協働作戦です！

※林氏は、水槽を用いて水生生物を誘致し生息域を広げ、水生生物の回廊化を図りトンボ等の豊かな環境を広域に創る研究で成果をあげています。

### 〔1年目（2020年度）の活動成果〕

2020年度、八郎潟周辺各地の小学校・高校・大学など6カ所にモグリウムを設置しました。そこに八郎潟土着の遺伝子を持つエビモ、セキショウモ、クロモなどを植え付けました。水草は順調に生育し、トンボのヤゴやゲンゴロウなどの水生昆虫がやってきました。一部の学校で顕微鏡観察を行ったところ、ミジンコが多数見つかりました。



### 〔「はちプロ学生部」の活動〕

秋田県立大学や秋田公立美術大学の有志学生と、八郎湖再生のため実践的な学習に取り組む「はちプロ学生部」を立ち上げました。2020年度はモグリウム以外にも、ホテル観賞、外来種駆除、魚類調査などの活動も行いました。学生部の皆さんとも協力し、水槽の管理・調査を行いつつ、地域との交流も深めていくことで、地域の活性化にも繋げていきたいと考えています。



# 水草たくさん、ミジンコたくさん、 色々なトンボが飛び回る八郎潟をつくろう！



みんなで観察



「八郎潟モグリウム」設置  
八郎潟時代の土着の沈水植物  
(モグ) を復活させる

- ・エビモ
- ・クロモ
- ・コウガイモ
- ・セキショウモ
- ・マツモ など



2021/10/13現在  
モグリウム設置場所